

グループホームに

にゆうきよ 入居して

今年の四月一日夕方、ぼくたちはグループホーム「未来」に入居しました。入居者は六人います。男の人が四人と女の人が二人です。場所は相鉄線二俣川駅北口から歩いて十分。旭警察署のとなりです。

グループホームへ入ったばかりのときは、線路のそばで電車の音がうるさく、ベッドがゆれてねむれませんでした。いまは、ねむれるようになりました。

旭警察署のまえに、セブイレブンがあります。みんなそれぞれに自分の食べたい物、たとえばヨーグルト・プリン・お菓子・ビールやチューハイなどを自由に買いに行きます。

セブイレブンの横にある郵便局で、はじめて給料を入金することができてうれしかったです。

グループホーム「未来」は新しくできたばかりのきれいな家です。自分の部屋にお風呂とトイレ・洗面所・キッチンがついていたのでびっくりしました。仕事からかえっ

てくると、よごれた洋服を洗たくします。

土曜日は自分の部屋のそうじをします。自分の部屋でコーヒーやお茶を入れたり、ラーメンを作りました。

金曜日はみんなで調理をしています。いままで作ったものは、ラップのおにぎり、そば、スパゲティーやぎょうざなどです。これから作りたいものはサンドイッチ、オムライス、うどん、カレーライス、やきそばなどです。みんなで食事をするのがとても楽しいです。

週一回みんなで集まってミーティングをします。いろいろなことを話し合います。最初、お風呂の熱いお湯の調節がわからなくて、ミーティングのときにみんなに相談しました。いまはだいじょうぶです。

こんど、グループホームのみんなと一緒にハイキングや旅行がしたいです。



この文はグループホーム「未来」の入居者の皆さんが全員で話し合いながらつくったものです。昨年六月の総会のとき発表しましたものです。

ちいき 地域で暮らし続けるために

昨年は金融不安のご時世が気持ち暗くする一年間でした。平成九年度、この不況の中、横浜市は介助型運営費を増額しました。地域福祉推進にかける横浜市の心意気を感じられ、大変ありがたく思いました。

十年度も景気はそう簡単には回復しそうもなく、このような時代に地域福祉はどうなるのであろうかとの不安を抱きます。

◇生活を支えるということ

昨年は障害者の生活を長年にわたって支える大変さをつくづくと感じた年でした。

当たり前のことですが、入居者の生活はずっと続くわけです。その中で親の死を迎え、本人も年老いていくのです。入居者が三十年後どうなっているかを考えたとき、援助というのはい人の職員で

何とかできるものではありません。職員から次の時代の職員へとつないでいける体制が整えられることがとても重要なことになってきます。

昨年は私の関係するグループホームで家族の死に直面した入居者のたいへん多い年でした。グループホームに入居したあとも親を心の支えとしている障害者はたくさんいます。その親亡きあとに本人が感じる不安は、私の想像をはるかに越えたものであることを実感した年でした。つなかりの強かった親が亡くなったあと、入居者は長い間、精神的なバランスを保つことに苦しんでいるということを感じたのです。

このような時期に職員体制の変化が重なる、入居者の精神的なバランスが大きく崩れることになってしまいます。

◇弱い職員体制

現在の横浜のグループホームは入居者一人一人の障害に応じて、基本型か介助型、どちらかの運営費が助成されるしくみになっています。

現在のグループホームの職員体制では、三六五日の運営も困難な状況です。今いる職員が何らかの理由で交代する時も、引き継ぎの期間を長くとることはできません。ある時期突然、新人職員になってしまふ職員交代時は多くの入居者を不安にしています。

これが基本型運営費の障害者が多いホームだと、職員は一人しかやとえませんから、その職員に何かあったら本当にゼロからの再出発になりかねません。

グループホームの特性からしても、職員が二人いても交代勤務です。一人なのです。職員交代の時は新人職員が一人で勤務に入れるよう

に入居者一人一人の生活について知る期間が必要です。入居者への変化を最少限に押さえるためにはある程度の時間が必要になってくるのです。

◇グループホームの増加と状況の変化

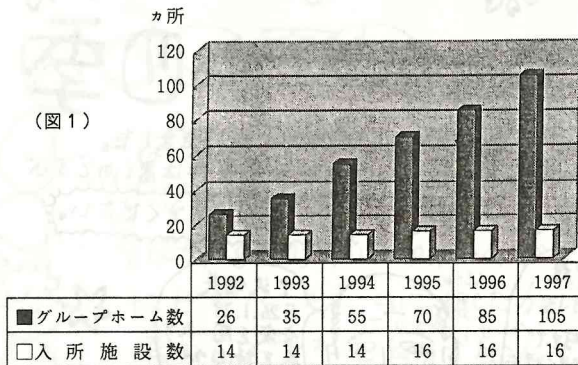
この五年間で横浜市のグループホーム数は四倍に増え、入居者数も市内法人施設入所者数の半数を超えました。(図1、図2)

A型グループホームがスタートした当時は、入居者は週末は実家に帰るといふ形で制度の足りない分を補ってきました。

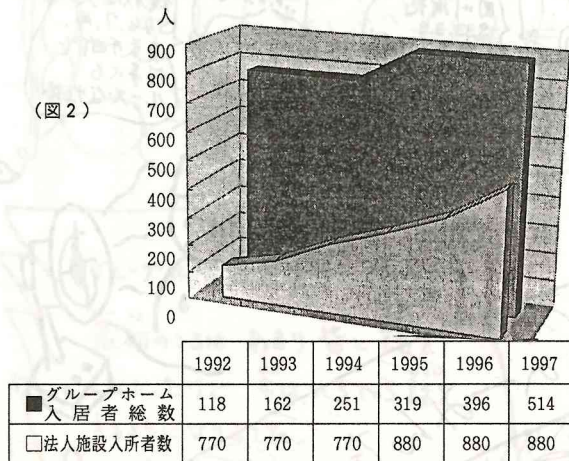
しかし、今年の連絡会のアンケート調査によると、A型グループホームのうち週末も入居者がいると答えたホームは八割以上になります。(図3) スタートの時から週末も入居者がいるホームも増えていきます。

グループホーム制度も確かに以前よりは充実してきていますが、

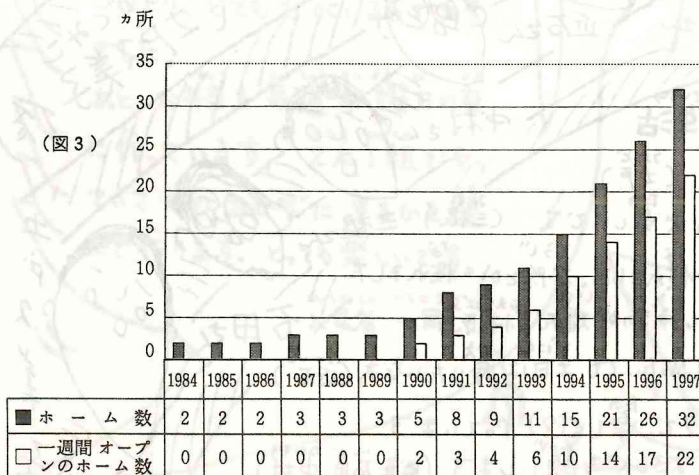
市内法人入所施設数とグループホーム数



市内法人施設入所者数とグループホーム入居者総数



A型グループホーム数及び全日オープンホームの推移



◇ 安定した暮らしの場

三六五日の体制を維持していくのにはまだまだ不十分なのです。でも入居者やその家族の状態は制度の充実を待ってはくれません。

現在のグループホームの多くは、特に基本型運営費の障害者が多いホームでは、昼間の職員配置をなくしてやりくりをしています。アンケートの質問に対しては、「入

居者が病気になるたら時間外でも職員が何とかする」と答えているホームが多いのですが、やはり今のままでは家族も不安なようです。「今のところ入居者が元気なので何とかなっています」と答えているホームもたくさんあります。病気の時の昼間の対応すら不安な状態ですから、入居者のことでもっと取り組まなければならぬことがあっても、できません。

実際に慢性疾患をかかえた入居者のいるホームは非常に厳しい運営を強いられています。職員体制が弱い制度のままにグループホームが増加するとグループホームを維持するために無理を重ねるホームも増えていきます。年月とともに入居者を支えきれないホームが増えていくことになりかねません。

三六五日の生活を支える体制にはほど遠い現在のグループホーム制度を今一歩、押し進めていただきたいと痛感する新年です。

(室津茂美)

新グループホーム紹介だよーん

ふるあまの季節

はじめましてグループホームビジネスです
今年(初)の4月1日にスタートしました。
男ばかり5人のグループホームです
+ふせグループホームに入居したかときらと
親からはなれて自分で生活したかたから
です。はじめのうちは1人暮らし
だったとよいかかわらないことが
多かったけれど
今は+ふせいばがなまました。
5人で+ふせのしくしていきま。

今年の十月に「ふるあま」がスタートして半年以上がすぎました。
グループホームが山のふもとに建っているため、土地条件は悪いのですが
みんな楽しく暮らしています。ぜひ遊びに来てください。



{グループホーム築業の今の様子}

最初のころはあまり皆と話を
しなかったけど今はいろいろ話を
するようになりました。
パン作りには皆でちやうせんをしま
した。きじもおもいっきりたいて
こねたり。とても力があるのが大変
でした。
あと、お弁当を毎週水曜日の夜
に作っています。2人1組でや
っていてどのおかずにするかを選
んで作ります。とても楽しいです。

入居者一同

未み
来ら

文 総リダ-伊達亮介さん
代筆 久徳寛正

はまゆうは 大変楽しいです。みんないろいろ職業もいて、
いろいろ話したりできるです。前に築いた頃は、
行った旅行です。カラオケをしたり、温泉に入ったり、
バーベキューもしました。いつもみんな家でテレビを見たり、
お金の貯蓄でゆくりしています。これからますますはまゆうに
住みたいと思います。



りーんぼう せきせつ せきせつ せきせつ せきせつ せきせつ
せきせつ せきせつ せきせつ せきせつ せきせつ せきせつ



ここでの生活

☆ いいのよ。(せき)
☆ 煮み煮するのが楽しいです。(三根) 三根さん
☆ 生活がちゃんと慣れました。掃除とかも慣れました。
☆ 週末に実家に帰るのが嫌だ(小松原)
☆ 親と離れて良かった。でも、土日は帰りたいなあ(近石)
☆ 女の入りかきで、楽しく(?)やっています。
これから、よろしくお願ひします。(職員 石田、中村)



トイレマーク

トイレマークをいろいろ試してみよう



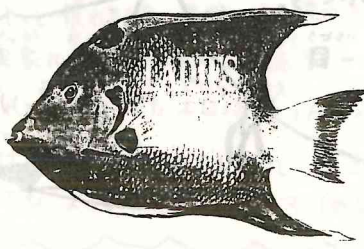
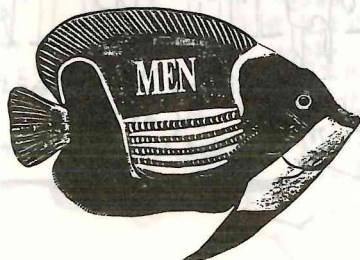
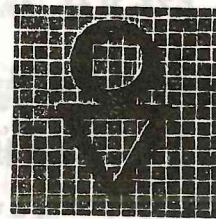
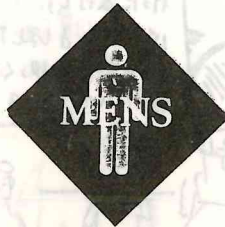
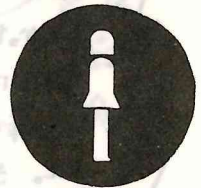
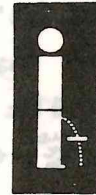
紳士用

婦人用



わかるかな？

いろいろあるヨ！



だれもが使える 交通機関を求め 大行動

会
絡
から
参加
60人

十月十日は「体育の日」...と同時
に「交通アクセス」の日。
私たちが安心して何処にでも行ける
ように、点検しながら電車やバス
で大移動。今年から連絡会も参加。
関内駅に朝の十時に集合し、
電車・バスで横浜駅へ、横浜の沢
渡公園で集会の後、公園から横浜

参加した皆さんの感想

- わかりにくいマークが たくさんあった。
- パートの あんないちず ひらがなで かいて ほしかった。
- もっと えきいんさん おこないで やさしく おしえて ほしかった。
- えきいんさんは まあ やってくれたが かいだんは こわかった。

デモ行進では皆さん『駅にエレベーターを!』『わかりやすい案内が欲しい!』と思いいいに叫びながら歩いていました。

○トイレのマーク わかりにくかった。

- しんよこはまで おすもうさんにあえて うれしかった。
- あの日だけ えきいんが たくさん いて びっくり。どこからあつめて きたのだろう?



歌って踊って カラオケ大会!

八月十六日「ビッグエコー・いせざき店」にてカラオケ大会がありました。みんな歌って踊って、楽しそう!



なげたり けったり ころがしたり:

ボーリング大会!

十一月二十四日、新杉田駅前の「新杉田ボウル」でボーリング大会がありました。みなさん日ごろの思いをボールに込めて、いちのさくー (参加者72人)



みながみ 水の上 り旅 こう行 ぎん吟

どの部屋も 紅葉ありけり最上階
ロープウェイ 天神平の霧せまれ
すっぽりと 宿の埋まるる紅葉かな

猫舌 (本牧生活の家)

協力会員募集!

まちの中でくらししている障害者の声とお届けする機関紙「まちの中で」を発行しつづけるために、ご支援をお願いいたします。

会費(年) 1口 2000円

振替... 00280-7-73608
横浜市グループホーム連絡会

☆協力会員になっていただいた方には、機関紙をお送りいたします。

基金づくりにご協力を!

グループホーム運営支援基金のために、みなさまのお手元でねびっている未使用のテレフォンカード、オレンジカード、ビール券、商品券などのご寄付をお願いします。


送り先・横浜市グループホーム連絡会
事務局

〒231 横浜市中区本牧満坂10
本牧生活の家 045-623-5318

新年度の協力会費

振り込みをお願いします

阪神大震災にあった障害者の生活を支援するために、募金を引き続きおこなっています。振替は同上。通信欄に「阪神大震災カンパ」と明記してください。

 ありがとうございます ('97.5.1 ~ 11.30) 敬称略

寄付 樋山 剛史 川島 京子 小野 喜美江

テレフォンカード・その他商品券 市原 かね子 的場 恵美子 鈴木 伸

今井 啓子 桑原 玲子 加藤 崇え 須田 杏 杉原 悦子

草壁 きみ 六角 ちい 近藤 博子 石橋 智恵子 西岡 直子

杉田 鉄蔵 岩崎 伸代 室津 滋樹 水越 玲子 勝又 直美

協力会員 飛田 利美子 的場 恵美子 鈴木 伸 鈴木 恭子

間野 奈美子 樋山 剛史 近藤 博子 青井 富美子 福田 瑤子

植田 慶子 加藤 恵美子 藤尾 孝枝 川島 京子 上野 隆雄

早川 康弋・美佐 加藤 ヨ子 原田 南海子

南 馨 荒川 綾子 小澤 洋子 橋詰 好

辻田 平七 横田 繁次 内山 光子

大石 和貴子 森下 博子 雨宮 未子

岩崎 知子 本多 敬子



発行人 神奈川県身体障害者団体定期刊行物協会
横浜市港北区鳥山町1752
横浜ラポール3F
編集人 横浜市グループホーム連絡会
横浜市中区本牧満坂10本牧生活の家
TEL 045(623)5318
FAX 045(623)5319
郵便振込番号 00280-7-73608
名称 横浜市グループホーム連絡会
編集責任者 室津 滋樹
定 価 100円